

光一中だより

教育目標

- 自主的に学び、考え、実行する人
- 心豊かで、ともに助け合う人
- 健康で、勤労を愛する人



練馬区立光が丘第一中学校
校長 豊田 貴志
令和7年度 第6号
令和7年10月8日

「一人でもできること、一人ではできないこと」

校長 豊田 貴志

先日三年生の皆さんと2泊3日の日程で奈良・京都に修学旅行に出かけました。東京駅の出発式で「旅は一人でもできるものだが、修学旅行は一人ではできない経験をすることができるものだ」と話をしました。



旅というのは、一人でもできる活動です。自分のペースで歩き、自分の興味のあるものを見て回ることは、一人旅ならではの良さでしょう。しかし、修学旅行では、それとはまた違う価値を見出すことができます。仲間と感動を共有し、助け合いながら行動し、ときには意見を出し合って調整をする。そうした「誰かと一緒になければ得られない学び」こそが、集団で行く修学旅行の大きな意味と言えます。

「合唱」も同じです。歌うという行為だけなら、一人でもできることです。自分の声だけで表現を完結させることは、誰にでも可能なことです。しかし「合唱」となると話は変わります。自分の声を周りに合わせ、互いを聴き合いながら響きをつくる。パートが重なり合い、一人では生まれない音楽が形になります。そこには、責任と信頼、そして協力が欠かせません。

これから始まる合唱の取り組みは、まさに「一人ではできないこと」に挑戦する行事です。一人ひとりの努力はもちろん大切ですが、それが合わさって初めて全体としての感動が生まれます。声を合わせることは、心を合わせること。自分の役割に誇りを持ち、仲間を信じて声を届けてほしいと思います。

また皆さんに許されている練習の時間は決して多くはありません。限られた時間の中で練習を計画し、効率よく、効果的な練習をするにはやはり協力する姿勢は欠かせません。実行委員や指揮者、パートリーダー、伴奏者とともに練習に真剣に臨むことがとても大切です。



「共にあることの尊さ」を、今度は歌で表現する時がやってきました。一丸となってつくり上げる合唱という舞台に向けて、ぜひ力を合わせ、最高の時間にしていきましょう。